

室内環境学会講演会プログラム

セミナータイトル:

IoT社会の室内環境センシング – 生体センシングからスマホの活用まで –

最近、インターネット経由でセンサーと通信機能を有した機器を繋げるIoT技術が急速に進み、室内環境のモニタリングにも応用されてきました。本技術により、医薬品製造施設や医療施設などの施設管理に関する検査時間の大幅短縮や精度向上ばかりでなく、一般住居における室内環境の簡易測定などの分野への展開も期待されています。本講演会では、話題となっている生体センシングにもふれ、本技術に関連した分析・評価法の概要、実施例および今後の課題などを、本分野の専門家と国内で関連機器を提供されている企業の方にご講演頂きます。

主催: (一社)室内環境学会

日時: 2020年2月21日(金) 13:00~17:00

場所: フーハ大阪セミナールーム(大阪)

参加費: 会員 5000 円、非会員 8000 円(テキスト代込、当日お払い下さい)、学生 1000 円

事前登録: 要、メール(info@siej.org)またはファックス(03-6801-6083)でお申込下さい。

問合先: 室内環境学会 E-mail: info@siej.org , TEL: 03-6858-3838

時間	タイトル	講演者(所属)
13:00-13:10	趣旨説明	山口 一 (大同大学、工学部、教授)
	基調講演	
13:10-14:00	グラフェンナノセンサによるpptレベル高感度ガスセンシング技術の現状と今後の展望	水田 博 (北陸先端科学技術大学院大学、先端科学技術研究科、教授)
	一般講演 (I)	司会: 齊藤 智 (竹中工務店)
14:00-14:30	MEMSデバイスによる環境センシングの可能性	三笥佳代 (オムロン(株)、事業開発本部、MEMS開発生産センタ、技術開発部、開発2課、主査)
14:30-15:00	センシングツールを活用した、働く人、働く場の見える化	上野裕一 (富士ゼロックス(株)、SWI事業本部 デジタルプラットフォームグループ、マネジャー)
15:00-15:10	休憩	
	一般講演 (II)	司会: 山岸 弘 (ライオン(株))
15:10-15:40	バイタルモニタービーコンの実用化	宮本 修 (ホシデン(株)、国内営業本部、東京営業部営業課 兼 MEDITAGプロジェクト、課長)
15:40-16:10	横波型弾性表面波デバイスを用いた小形免疫センサ	谷津田博美 (日本無線(株)、新規事業開発本部、新規事業開発技術部、バイオセンサグループ、専任部長)
16:10-16:40	タニタにおけるセンサ技術とヘルスケアへの展開について	望月 計 (株)タニタ、生産技術本部、量産設計センター、技術2課、課長)
16:40-16:55	質疑応答*	
16:55-17:00	総括	山口 一 (同上)

*各講演には全体の質疑応答とは別に、5分間の質疑応答時間をとっております。

尚、講演後、希望者にはフーハ施設の見学を予定しています(開館時間は19:00 までです)。

以上